

土地利計画図

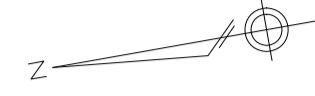
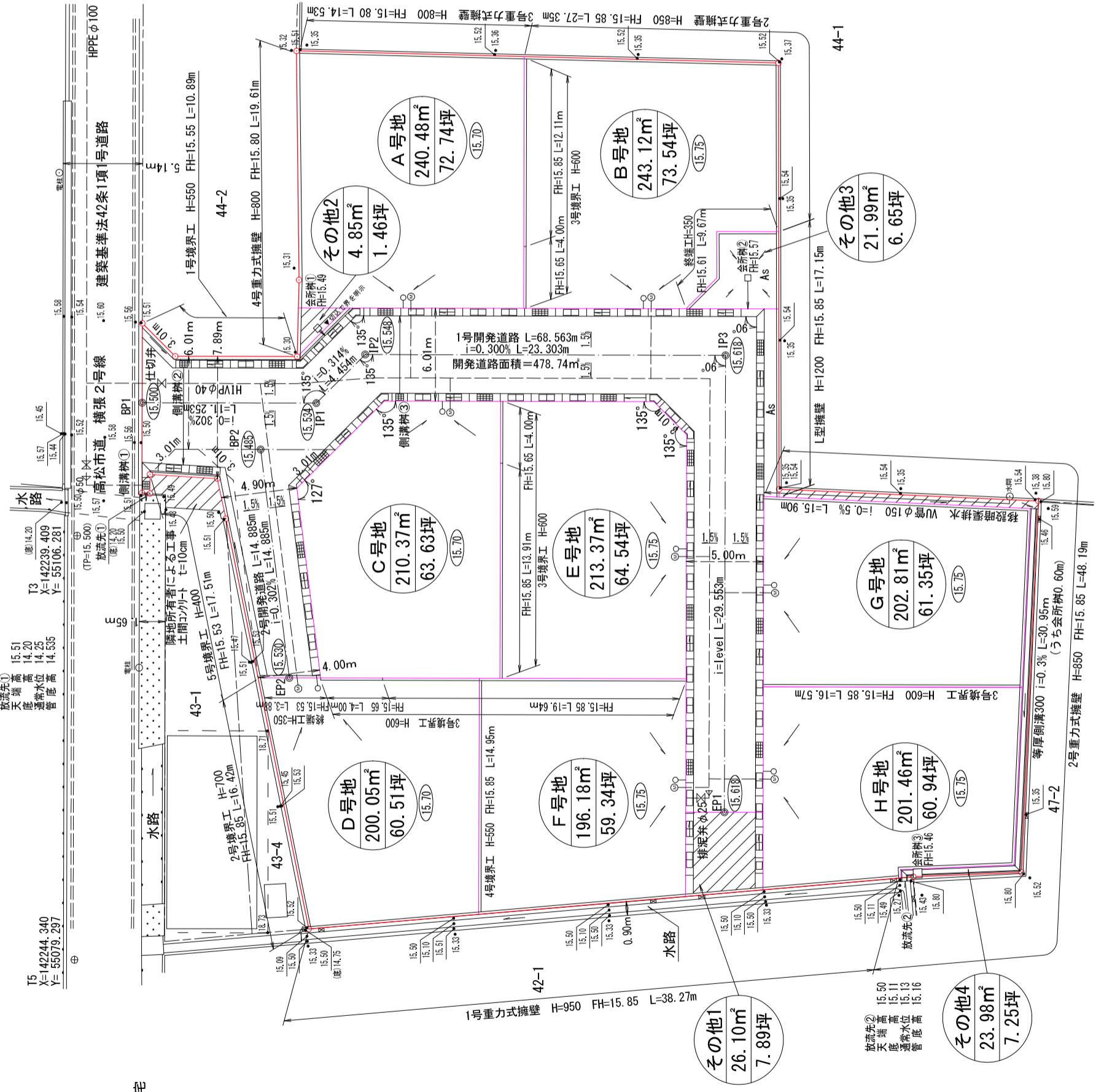
土地の所在 高松市小村町字南下所43番1の一部、43番2、44番3、44番5

非線引都市計画区域
用途白地地域 一般・環境保全型
予定建築物の用途：一戸建ての住宅

開 発 許 可 年 月 日	第 平 成 年 月 日
	第 号
申 請 者	株式会社 アルファード 代表取締役 七條政志
作 成 者	高松市伏石町二二七四番地一五 土地家屋調査士 高橋秀樹 (印)

T1
X=142231.262
Y= 55152.527

T5
X=142244.340
Y= 55079.297



凡 例

○	雨水最終樹φ350 (泥溜0.15m以上、深さ0.9m以下)
○	Wφ150 i=1%以上 (A~H号地)
→	引込管V200 umerata 13mm
→	流水方向
○	開発区域
□	自由勾配側溝 (300)
□	側溝樹 (100%) ケーシング T=14
□	①W管φ250 i=1.28% L=0.39m ②重圧管φ250 i=1.005% L=6.27m
□	③重圧管φ250 i=1.018% L=5.01m
□	会所樹 ケーシング T=14
□	①重圧管φ150 i=1.000% L=1.00m ②重圧管φ150 i=1.000% L=2.00m
□	L型側溝
□	土間コンクリート t=10cm

(注記) 集水する樹はグレーチング又は穴空き蓋を設置すること。
 ・排水水及び排水を漏水する樹は泥溜を15cm以上確保すること。
 ・埋設管の交差箇所は10cmのクリアランスを設けること。
 ・土溜り側溝は30cm以内の傾斜とする。
 ・土地内の法道は30cm以内の傾斜とする。
 ・街路樹と自由勾配側溝の接続部は段差が生じないように施工すること。
 ・開発協賛は最終樹から二次放流先までとする。
 ・区画内からの汚水は合併処理浄化槽から宅内最終樹を経由し開発道路内の側溝に排水しその後一次放流先である法定外水路へ放流する。
 ・宅内の配水管の土溜りは20cm以上とする。